

施策評価シート（平成22年度の振り返り、総括）

作成日 平成23年 06月 10日

施策 No.	3	施策名	バリアフリーのまちづくり
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8150
関係課名	都市計画課、区画整理課、水道課、下水道課、福祉課、商工観光課、企画課、学校教育課		

施策の対象	・建物及び道路・市民及び訪問者								
対象指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度見込
建物数（公共施設数）	箇所				24	35	35	35	35
人口	人				66,712	83,392	82,997	82,584	85,500

施策の意図	・施設を不自由や不具合なく利用できるようバリアフリー化し、高齢者や障がいのある方を含むすべての市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。
-------	--

成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを利用する際に不自由や不具合を感じている市民の割合は市民意向調査による。 ・公共施設は、市役所庁舎、図書館、市民会館（2館）、公民館（7館）、体育館（6館）、福祉センター、保健センター、駅舎（6駅）、青年女性会館、情報センター、井頭温泉、チャットパレス、スポーツ交流館、木綿会館、農産物販売交流施設、二宮コミュニティセンター、野外活動センター、二宮尊徳資料館の35施設。 ・市内の公園は82箇所、公衆トイレは111箇所である。 ・バリアフリーの定義：エレベーター、エスカレーター、自動ドア、多機能トイレ、手すり、段差の解消、点字案内、絵文字等。 ・1項目で実施していた成果指標を求めるとの市民意向調査項目を、より具体的に求める
----------------------------	--

成果指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度基本計画目標値
まちを利用する際に不自由や不具合を感じている市民の割合	%				47.1				
道路を利用する際に不自由や不具合を感じている人の割合	%					43.7	42.6	44.1	42.0
公園を利用する際に不自由や不具合を感じている人の割合	%					29.2	29.8	27.9	27.0
建物を利用する際に不自由や不具合を感じている人の割合	%					38.9	38.1	33.8	37.0
交通機関を利用する際に不自由や不具合を感じている人の割合	%					46.4	46.2	43.9	44.0
民間施設を利用する際に不自由や不具合を感じている人の割合	%					36.6	34.4	34.0	35.0
バリアフリー化の公共施設の割合	%				33.3	28.6	31.4	31.4	34.3
バリアフリー化の公園数	箇所				23	31	31	31	38
バリアフリー化の公衆トイレ数	箇所				6	7	7	7	8

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の役割：公共施設のバリアフリー化の促進と、民間施設所有者にバリアフリー化の必要性及び重要性を啓発し、促進してもらう。 ・住民・民間の役割：所有する施設のバリアフリー化を促進する。
-------------------------	---

22年度の 評価結果	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成11年に栃木県ひとにやさしいまちづくり条例が施行され、公共的施設はバリアフリー化の届出が義務化になった。 ・平成18年にハートビル法と交通バリアフリー法が統合され「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」バリアフリー新法が施行となり、従来対象としていた施設に路外駐車場や都市公園等が追加された。 ・市民意向調査では、交通機関や道路を利用する際に不自由や不具合を感じている市民の割合が高く、公園の割合は低い結果となった。
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p> <p>平成21年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎増築棟に自動ドア、多目的トイレ、手すりを設置。 ・市営東郷団地のトイレに手すりを設置。 ・大谷台町地内の歩道の段差部を2箇所バリアフリー化した。 ・真岡市西中学校にエレベーターを設置。 <p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真岡東中学校のスロープ設置、手すり設置。 ・真岡西中学校のスロープ設置、手すり設置。 <p>電線地中化実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道つくば・真岡線（田町橋周辺）340m、 ・県道石末・真岡線（寿町交差点から真岡鉄道踏切）907m、 ・県道真岡・上三川線（日新エネルギー前から寿町交差点）1552.65m、 ・県道那須・烏山線（荒町交差点付近から大前神社手前）684.7m、 ・県道西小埜・真岡線（寿町交差点から東電前）307.5m 合計3791.85m

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・ 既設公共施設のバリアフリー化を図る。
- ・ 既設施設の改修に合わせてバリアフリー化を実施する。
- ・ 新設公共施設については、バリアフリー化を前提に整備を進める。
- ・ 主要地方道宇都宮真岡線及び真岡那須烏山線の電線地中化による歩道のフラット化の促進。
- ・ 担当部課ごとにバリアフリー基本構想作成の検討を進める。

22年度の
評価結果

補足事項